

調査結果について

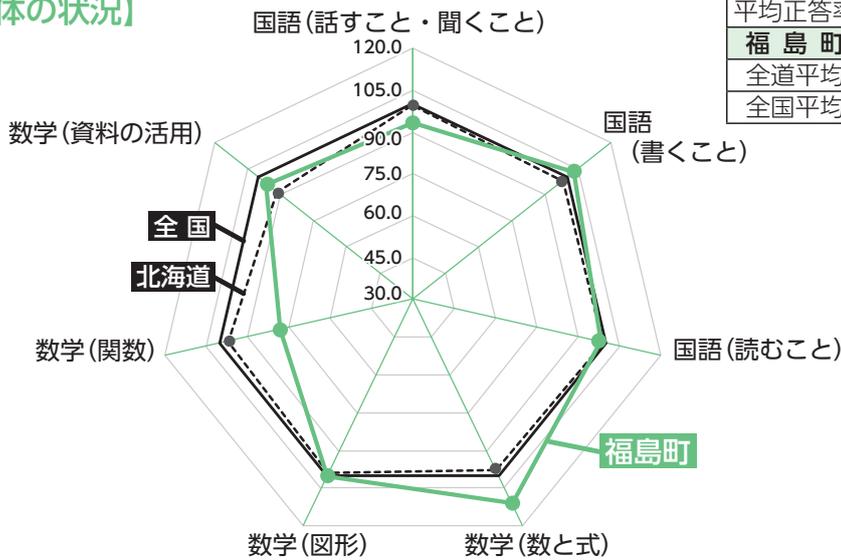
小学校では国語が全国平均を上回り、算数は全国平均と同じ結果となりました。

中学校でも国語が全国平均を上回り、数学については全道平均を上回りましたが、全国平均を1ポイント下回りました。なお、英語については、全国平均を5ポイント上回るすばらしい結果となりました。

学校での1人1人にあわせた学習と、タブレット端末を使用した家庭学習に取り組むことが重要と考えておりますので、家庭・学校・教育委員会が一体となって学力向上に取り組ましましょう。

福島町中学校の状況（中学校数：1校、生徒数：10人）

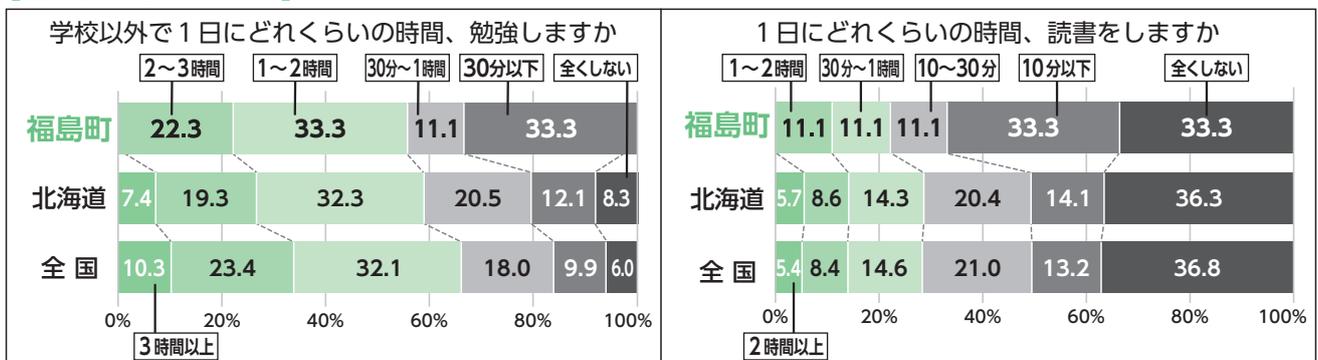
【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道および市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

国語	<ul style="list-style-type: none"> 各領域において全国および全道平均とほぼ同数値であり、科目としては昨年に引き続き、全国および全道平均を上回りました。 自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書いたり表現を工夫する授業を進めたことにより、「書くこと」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は全国および全道平均から正答率が大幅に低い結果でしたが、今年度は科目として全道平均を上回る結果となりました。 昨年度に引き続き、「関数」の領域に課題があるため、表やグラフから必要な情報を読み取ることや、数の変化の割合などについての理解を深められる学習に取り組めます。
今後の取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生徒が主体的に学び、意欲的に学習に参加することができる授業づくりに取り組みます。 ◎ 基礎・基本の定着への取り組みや学力向上習慣の取り組みを継続して行います。 ◎ ICT機器を活用した授業改善や、eライブラリを活用した家庭学習を推進します。

【生徒質問紙の状況】



- ・学校以外での勉強時間が30分以下の生徒は33%で、全国および全道平均よりも15~20%程度多い結果でした。
- ・1日の読書時間が10分以下という生徒は66%で、全国および全道平均よりも約15%少ない結果でした。
- ・上記の2点から、タブレット端末などを利用した家庭学習や『うちどく』を通して読書活動の推進を図ります。